



# おまえざき 社協だより

「みんながしあわせ」と感じるまちづくり



社会福祉法人  
御前崎市社会福祉協議会

TEL: 0548-63-5294 じどうかん: 0537-86-8066  
ホームページ: <http://www.omaekishakyo.jp>  
E-mail: [info@omaekishakyo.jp](mailto:info@omaekishakyo.jp)



Vol.98

令和2年8月14日  
発行



新型コロナウイルス感染拡大防止のため休業していた児童館と自立支援通所サービス「ひなたぼっこ」が6月から再開し、利用者さんがまた笑顔で来てくださるようになりました。

児童館やひなたぼっこでは今後も感染症対策を徹底し、利用者さんが安心して過ごせる場所を提供できるよう職員一同努めて参ります。



## 児童館とひなたぼっこに 笑顔が戻りました

やっと  
来れたによあ〜!







# 赤い羽根共同募金のご協力ありがとうございます！ ～共同募金からご支援をいただきました～

## 灯光園に災害時用の資機材と収納庫を設置しました

(福) 御前崎厚生会 特別養護老人ホーム灯光園のご協力を得て、灯光園の敷地内に資機材と収納庫を設置させていただきました。

またこれらの資機材の取り扱いについて、御前崎厚生会と覚書を取り交わしました。



覚書を取り交わした社協繁田会長と  
灯光園松下秀夫理事長様 (右)

## ○災害ボランティア活動用資機材助成を活用しました

災害が発生した際、被害に遭われた方への迅速な支援を実施するため、活動用資機材や収納庫の整備に対して受けられる助成です。

この助成は社会貢献活動に賛同する地域の社会福祉法人の協力のもと、助成を受けることができます。

これらの資機材や収納庫は災害発生時等には地域の皆様にも使用していただけますので、その際にはご活用ください。

## ひなたぼっこ送迎車を購入させていただきました

ふれあい福祉センターなごみ内に開設している自立支援通所サービス「ひなたぼっこ」の新しい送迎車を購入させていただきました。

## ○地域福祉活動支援事業を活用しました

地域福祉活動事業や更生保護活動事業で必要な機器整備に対して受けられる助成です。社協だけでなく上記事業を広域で行う民間の非営利団体も助成対象となっています。

今回の送迎車の購入は機器整備費として助成を受けましたが、生活困窮者支援、孤立防止支援、児童青少年のボランティア育成等の事業を実施する際にも助成を受けることができます。



## 今年度も皆様のご協力をお願いします

今年度も10月から赤い羽根共同募金が始まります。皆様からいただいた浄財は、福祉教育やサロン運営等御前崎市の地域福祉活動に使用させていただきます。募金箱は市内公共施設等に設置させていただきますので、ぜひご協力をお願いいたします。

**運動期間 10月1日～12月31日**

## 災害義援金の受け付けについて

令和2年7月豪雨災害義援金等を受け付けています。詳しくは御前崎市社協ホームページをご覧ください。皆様のご協力をお願いいたします。

## 社会福祉協議会会費・日本赤十字社会費へのご協力をありがとうございます

御前崎市の多くの皆様には社会福祉協議会会費・日本赤十字社会費にご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。皆様からいただいた貴重な財源は、大切に活用させていただきます。

お寄せいただいた会費についてご報告いたします。

令和2年7月22日現在

社協会費 3,662,500 円 7,325 世帯

日赤会費 3,681,000 円 7,362 世帯



# 戦後75年を迎えて～標柱と写経に込める思い～

「散る桜 残る桜も 散るさくら」

この言葉の意味が分かるか？

昭和18年5月1日、海軍乙種予科飛行練習生(予科練)の20期生として三重海軍航空隊に入隊した幸一さんは、当時の思いをこう話してくださいました。

昭和19年10月ごろ特攻隊が立ち上がった。体育館に集められた予科練習生に1枚の紙が配られ、「特攻隊へ志願する者は丸をつけろ。」と言われた。集められた予科練習生全員が丸を付けた。飛行機の燃料は敵に向かうときの分だけ入れられた。帰ってくることはない、ということだ。

特攻部隊を帽子を振って見送るとき、常に次は自分だと思っていた。まさに「散る桜 残る桜も 散るさくら」。

御前崎からは自分を含め3人が20期生として入隊、その中で私と1人は特攻隊の訓練をしている最中に終戦を迎えたので戦地に行くことはなかったが、もう1人は戦死した。家に帰る途中でその死を知ったときの思いは口では言い表せないな。

戦後75年が経ち、20期生の内、同じ4班で生きているのは自分ともう1人だけ。戦没者慰霊祭がセレモニー方式に変わるにあたり標柱を作製すると聞き、その戦友が製材の仕事をしていたので作製に協力させていただいた。慰霊のために書き続けている般若心経とこの標柱を、私の戦争体験者としての思いと受け止めてほしい。

当時17、18歳だった若者がお国のために命を落とした無念さ、残された人たちの思い、そして、生きていることの大切さを今の若者にも感じてもらい、彼ら・彼女らの健全育成に繋がってくれればと願うばかりだ。

標柱の作製にあたり増田幸一さんのご尽力をいただき、また作製費用の一部もご寄付いただきました。



遺族会元会長 増田幸一さん  
(92歳、新谷区在住)



左から柳澤重夫 市長、増田幸一さん、  
遺族会現会長 増田幹夫さん

## 市内福祉団体紹介

御前崎市社協登録の福祉団体を順番に紹介していきます

### 御前崎市遺族会

御前崎市遺族会は「国の礎になられた英霊の顕彰・戦没者遺族の福祉向上」を目的に活動しています。御前崎市には1,052柱の御霊が祀られております。戦争遺児の平均年齢は80歳になり、遺族会の活動も戦争遺児から、孫・甥・姪に世代交代し、遺族家庭の意識が年々薄れていることや、会員数の減少が大きな問題となっています。

戦後75年を迎える今、戦争の記憶を風化させないように、活動を行っております。

#### 主な活動内容

- 靖国神社参拝
- 全国戦没者追悼式参列
- 御前崎市追悼式参列
- 会員相互の交流 等

#### 《問い合わせ先》

- 代 表：増田幹夫
- 事務局：御前崎市社会福祉協議会
- 電 話：0548-63-5294





**基本理念** お互いに支え合い「みんながしあわせ」と感じる地域(まち)

- 小地域福祉活動の推進、支援
  - ・支部社協事業への助成金交付
  - ・小地域福祉活動への助成金交付 等
- 福祉団体への支援
  - ・各福祉団体への助成金交付
  - ・福祉団体連絡会 等
- 災害時の支援体制の強化
  - ・災害ボランティアコーディネーター養成
  - ・災害ボランティア本部訓練の実施 等

**基本目標 1**  
お互いに支え合い  
安心して暮らせる  
まちづくり

- 福祉懇談会の実施
 

来年度から開始する「第4次地域福祉計画」「第4次地域福祉活動計画」策定に向けて、各地区で福祉懇談会を実施します。住民のニーズをふまえ福祉団体や福祉専門職で意見交換をし、新しい事業やサービスの展開に活かします。



- 市民の地域福祉への参加促進
  - ・ボランティア相談の受付
  - ・ボランティア講座の開催
  - ・共同募金事業の実施 等
- 啓発活動の推進
  - ・第16回御前崎市ふれあい広場の開催
  - ・第16回御前崎市社会福祉大会の開催
  - ・御前崎市戦没者合同慰霊祭の開催 等
- 地域福祉教育の推進、支援
  - ・中高生夏休みボランティア体験活動事業の実施
  - ・学校や企業を対象にした福祉出前講座の開催 等

**基本目標 2**  
市民一人ひとりが積極的に  
地域福祉に参加する  
まちづくり

- 地域における福祉の学びの場づくり(地域福祉教育)
 

福祉について、地域に住むすべての人たちが生涯にわたって学習できる機会を設けます。また、団塊の世代の方々へ向けた福祉の学びの場をつくり、地域福祉活動への参加につなげます。



- 相談支援体制の強化
  - ・法律相談の開催
  - ・ひきこもり、不登校支援
  - ・生活困窮者自立支援事業
  - ・法人後見事業
  - ・市民後見人養成 等
- 健康でいきいきと暮らせる仕組みづくり
  - ・放課後児童クラブの運営
  - ・ファミリー・サポート・センター事業
  - ・生活支援コーディネーター事業
  - ・ささえあいサポーター事業
  - ・浜岡中央児童館の運営管理 等

**基本目標 3**  
住み慣れた地域で  
健康でいきいきと暮らせる  
まちづくり

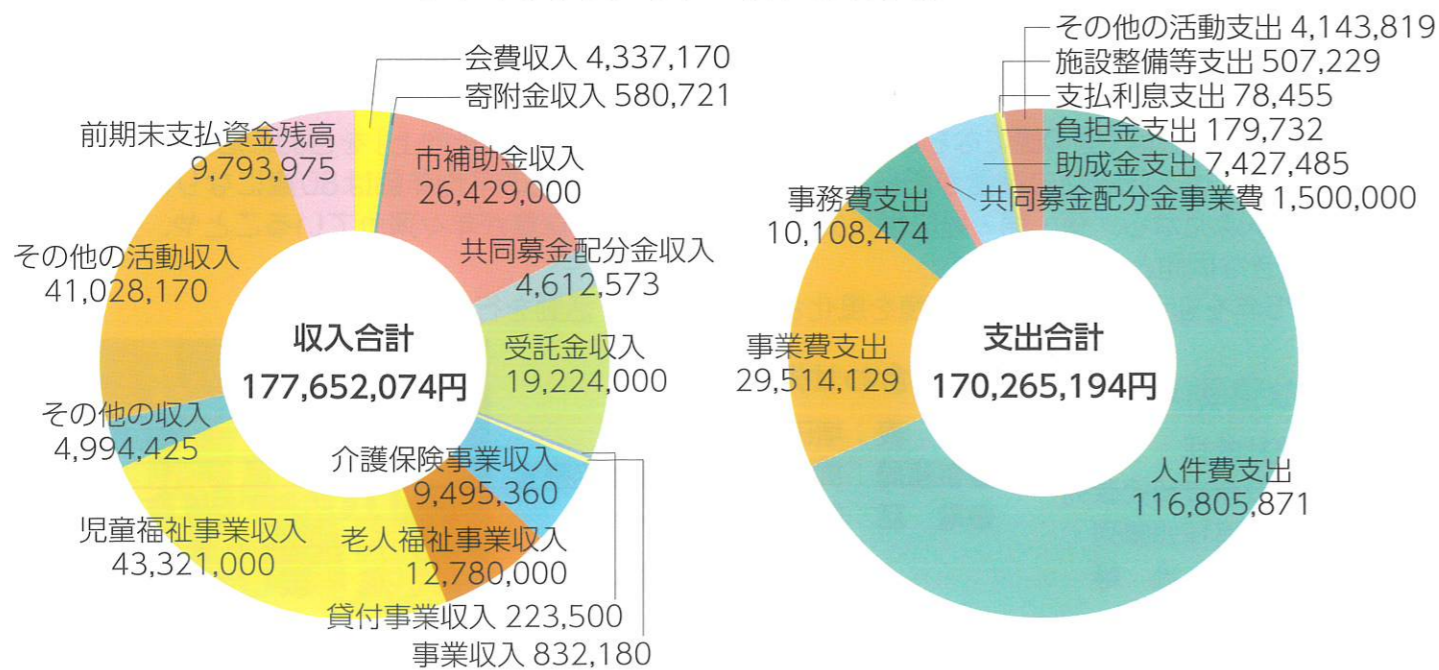
- 相談事業
 

様々な相談事業を実施しています。住民の皆様の困りごとを気軽に相談できる体制の強化に努めて参ります。

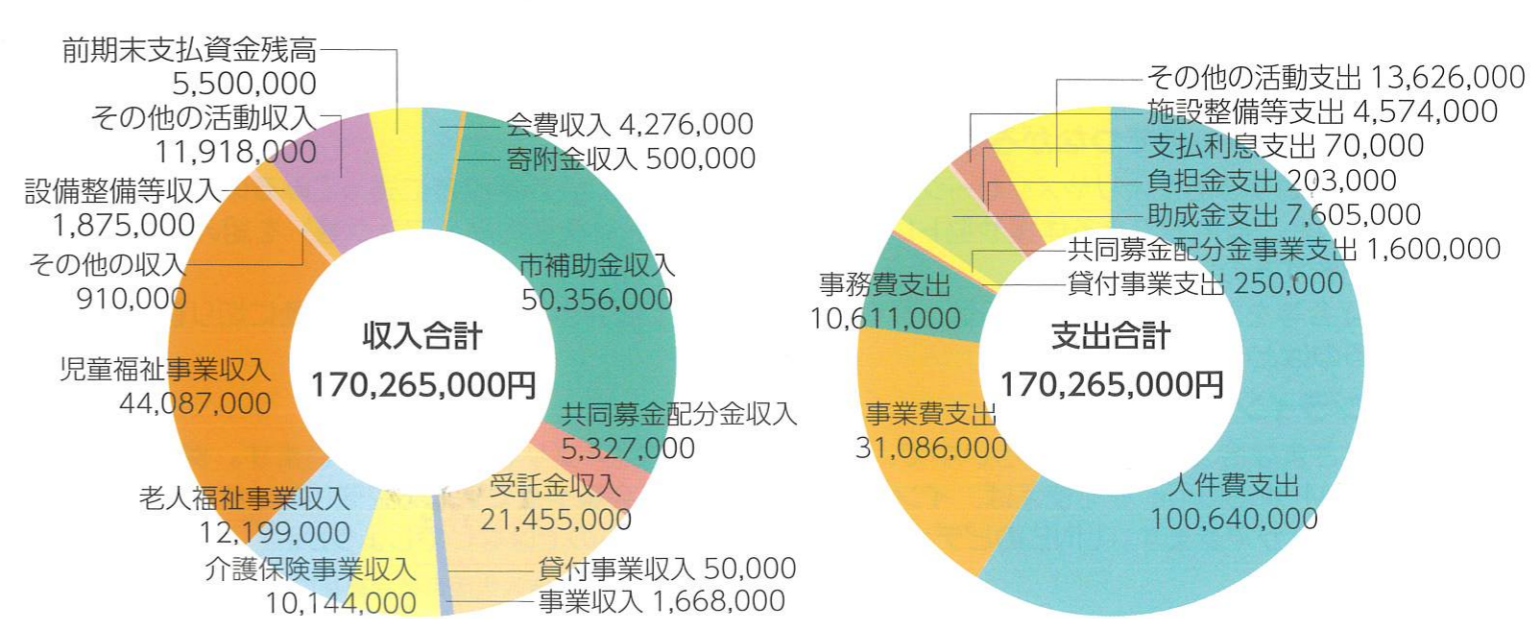
  - ・生活困窮者相談
  - ・福祉総合相談
  - ・法律相談
  - ・生活福祉資金貸付事業 等



令和元年度 資金収支決算報告



令和2年度 資金収支予算





新型コロナウイルス感染拡大防止のため、これまでボランティア活動に積極的に取り組んでこられた方々は、活動を制限され戸惑いや葛藤があったのではないのでしょうか。

このような中、少しずつ活動を再開したり、再開の準備を進めているという声も届いています。今回はボランティア活動者のみなさんが少しでも安心して活動できるよう参考資料をまとめました。

## 通いの場の再開時における感染症対策をふまえた5つのポイント

### ①参加に際してのルールを設定

- 発熱（37.5℃以上もしくは、平熱より1℃以上高い）、風邪症状がある場合は自宅療養しましょう。
- マスクもしくはそれに類する布により咳エチケットの対応を行きましょう（特に会話時や歌唱時には要注意）。
- 手洗い、うがい、手指消毒等の基本的感染症予防対策を徹底しましょう。

### ②ソーシャルディスタンスの確保

- 大人が両手を広げてお互い手を握れる距離が取れる人数は何名くらいかを確認しましょう。  
※人数が多い場合には、時間を分けて複数回に分けて実施するのも一案です。



### ③重点消毒の箇所の設定と消毒の実施

- 複数人が触れる場所を検討し、消毒液等で適宜消毒しましょう。※ドアノブ、テーブル、椅子、トイレ等
- 名札や、レクリエーション等で共有して使用する物品（セラバンド等）の使用はなるべく避けましょう。

### ④換気方法の確認とルールを設定

- 毎時2分以上、数分間の換気を行う（回数は目安）。
- 換気の悪い場所は極力使わない。※換気が難しい場合には、扇風機等を使用しできる限り換気を。

### ⑤運動時のこまめな水分補給（熱中症対策）の実施

- マスクを着用して運動を行う場合、特に暑くなる時期は、こまめな水分補給を実施しましょう。

（東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健研究チーム制作 参考）

## 集まれなくてもつながる方法

### ①電話でつながろう

- これまで活動に参加されていた方の安否確認や活動者間のコミュニケーションのために、電話をかけてみましょう。「誰かが気にかけてくれている」というのは嬉しいものです。

### ②手紙・届けものでつながろう

- 活動に関するおたよりやメッセージカードを会えなくなっている参加者に送ってみるのはどうでしょうか。自宅でできる体操や脳トレを掲載したプリントや衛生物品（マスク等）を組み合わせるのもいいですね。
- 会食会等を開催していたところは、見守り活動も含めてお弁当を届けるという活動に切り替えてみるのはどうでしょうか。

### ③オンラインでつながろう

- さまざまな会議が開催しづらい中で、オンライン会議用アプリも注目されています。例えば、ZOOM や Skype 等を使えば、インターネットを通して会議やセミナーを主催したり参加したりすることができます。LINE のビデオ通話機能は使いやすいのではないのでしょうか。

（社会福祉法人大阪市社会福祉協議会作成 参考）



# 御前崎市ささえあいサポーター事業

ささえあいサポーター事業は日常生活のちょっとした困りごとをサポート者がお手伝いする事業です。

市内在住で、高齢の方、障害のある方、病気療養中や産前産後の方等、お手伝いをお願いしたい方はぜひ御前崎市社会福祉協議会までお気軽にご相談ください。

お手伝いして下さるサポーターも募集中です！

利用者さんからの  
「ありがとう」の言葉が  
活動の励みになっています

## お手伝いできること

- ゴミ出し
- 自宅内の片付け、掃除、ゴミの分別
- 軽微な修繕や電球交換
- お庭の手入れ（草取り等）
- 布団や洗濯物干し、それらの取り込み
- 買い物代行
- お話相手、お散歩の付き添い 等

**20分200円、1回最大60分まで**



草取りの様子

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、  
内容によっては一部制限をしております。

## 地区の居場所にお越しください！

支部社協・地区協議体では住民の皆様が気軽に集まることのできる居場所を開所しています。参加してみたい、ボランティアとして協力したい…という方は、下記までお問い合わせください。

### 高松 門屋あそびサロン

門屋公民館  
TEL 0537-86-4949



### 佐倉 佐倉の館 (いえ)

佐倉地区センター  
TEL 0537-86-2304



### 比木 たまり場ひめはる

比木地区センター  
TEL 0537-86-3463



### 朝比奈 憩いの場ほろがや

朝比奈地区センター  
TEL 0537-86-3365



### 新野 いこいの間

よってかまい  
TEL 0537-86-7517



他地区でも  
開所に向けて  
調整中です。





フードバンクふじのくには静岡県共同募金会から助成を受けて活動をしています。

# フードバンクを活用してみませんか

「フードバンク」をご存じですか？フードバンクとは食品のパッケージミスや外箱の破損等、安全に口にできるにも関わらず捨てられてしまう食品を行政や社会福祉協議会等を通じて食べものに困る方に提供し、その方の自立した生活への支援を図る活動です。

静岡県にある「NPO法人フードバンクふじのくに」はこのフードバンク活動を実施する組織です。ここでは食料の提供以外にも、企業や個人からの食料寄付を受け付けています。「『もったいない』から『ありがとう』へ」をキーワードに、今日も多くの方に対して食料支援を実施しています。

このフードバンク活動はみなさまからの食品の寄付で成り立っています。下記のように食料を募る運動（フードドライブ運動）が始まっていますので、この機会にご家庭で使っていない食品のご提供をお願いします。

## フードドライブ運動(フードバンクへ食料をご寄付ください)

**期間** 令和2年8月1日(土)～令和2年8月31日(月)

**場所** 御前崎ふれあい福祉センターなごみ・浜岡福祉会館・市役所西館

**◎回収している食料** 賞味期限2か月以上で未開封のもの

**×回収できない食料** 酒類(アルコールの入った飲料・食品)、保存水、栄養剤、介護用流動食、美容食品、健康食品、サプリメント、もち米

**◎喜ばれる食料** 米、缶詰、レトルト食品、インスタント食品、調味料、食用油、ふりかけ、お茶漬け、のり、ギフトパック等、常温保存可能なもの



## フードバンクからの食料を希望する方

社会福祉協議会にお問い合わせください。  
(直接フードバンクふじのくにへの申し込みはできません。)



フードバンクからの支援例

## 社会福祉協議会役員変更のお知らせ

令和2年6月22日に役員が交代しましたのでお知らせします。

【理事】 敬称略

前理事氏名	新理事氏名	選出区分
大澤 満	渥美昌裕	市議会議員
植田 栖子	齋藤千穂乃	社会福祉団体

【監事】

前監事氏名	新監事氏名	選出区分
増田 雅伸	大澤 博克	市議会選出監査委員

ご退任された役員の皆様、長い間ありがとうございました。

## 戦没者追悼式及びふれあい広場の中止について

社協主要事業であります戦没者追悼式及びふれあい広場は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止させていただきます。

ご支援・ご協力いただいている皆様には大変申し訳ございませんが、ご理解の程、よろしくお願いいたします。

## 高齢者【はり・灸・マッサージ】【理美容】助成券 交付中!

■持ち物 ①印鑑 ②免許証・保険証等(生年月日と住所が証明できるもの)